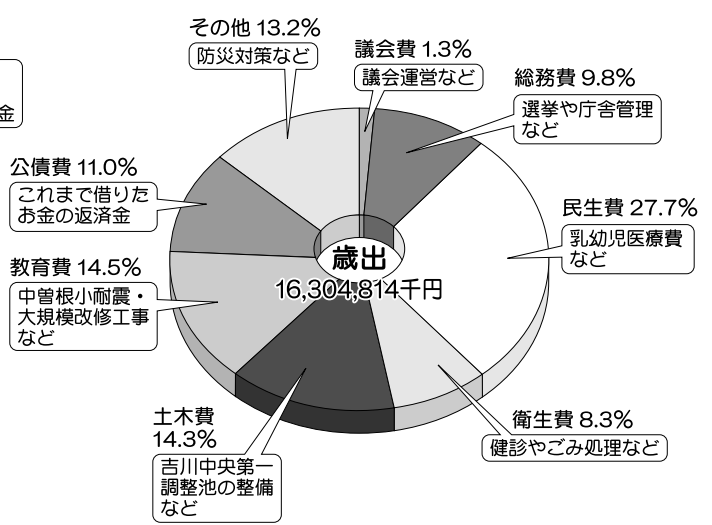
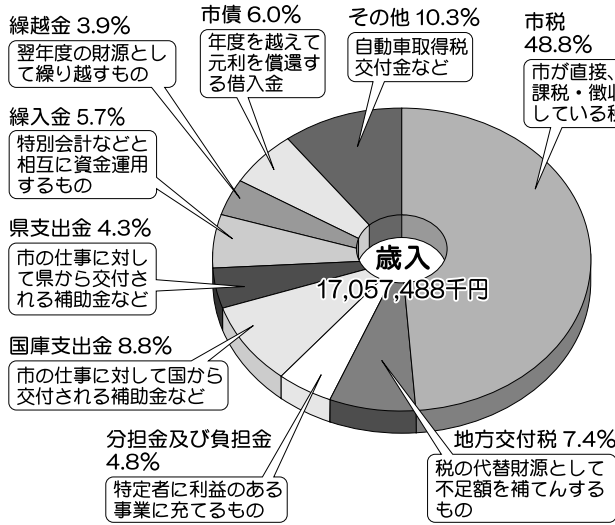


平成19年度

一般会計歳入歳出決算



【主な事業】

・自治会活動支援事業	4,025万4千円
・防災対策事業	1,436万6千円
・東埼玉テクノポリス工業団地拡張調整事業	303万4千円
・医療費支給事業	1億4,448万3千円
・児童手当支給事業	5億2,498万5千円
・武蔵野操車場跡地及び周辺地区整備事業	5,389万4千円
・都市計画街路整備事業	6,469万1千円
・学校施設整備事業 (小学校)	4億5,151万7千円

国の悪政が市民の暮らしを直撃しているもとで、住民の福祉と暮らしを守る、この姿勢に立つことが一番重要です。繰り返し市民とともに要望してきた子ども医療費無料化の窓口払いが7月1日より廃

止されたことや関小学校でのきこえの教室の実施、中曽根小学校の耐震補強と大規模改修の実施、関学童保育室の教室増設と台所設置などの事業については評価をし、今後の充実、拡充を求めます。

一般会計決算の特徴は、この数年の財政状況とは異なり使い残しが7億1千903万8千円もあり、単年度で見ても1億1千653万円の黒字だという点です。これは高齢者や障がいを持つ方、子どもたちまで市民すべてのサービスを一律に切り捨て、負担を押しつけてきた結果です。

市民・公明連立政権のもとで、市民生活は大変厳しい状況になり、平成14年と19年を比較すると年間24万円以上も収入が減っています。その上、定率減税の廃止で1億5千200万円もの増税です。

反対討論

日本共産党吉川市議員団
遠藤 義法

一般会計 決算討論

道路関係では、「安心・安全から優先的に予算措置を図るべき」との付帯意見が決議されているにもかかわらず、年々決算額が減り続けていることは問題です。

農家の経営は厳しく、実態を正確に把握し、必要な施策を実施、政府へも支援策を求めることが大事であります。

公明党吉川市議員団
五十嵐恵千子

賛成討論

公明党吉川市議員団
五十嵐恵千子

平成19年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について、